

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	地域医療部
	17045	地域医療連携システム導入事業	課名	病院総務課 病院総務G
	施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実	財	会計
	基本施策	02:健康づくり・地域医療の充実	務	款
	施策の方向	03:地域医療提供体制の整備	科	項
戦略プロジェクト	01:「健都さふり」プロジェクト	目	目	02:固定資産購入費
事業予定期間		H 29 ~ H 29 年度	主な根拠法令要綱等	

② 目的・概要	対象	医療・介護従事者、地域医療連携システム参加医療機関関係者
	目的	医療及び介護情報を統合し、県内の複数の医療機関、介護施設と患者の情報を共有できる地域医療連携システムの導入を行い、地域医療提供体制の整備を図るものである。
概要	患者の同意に基づいて公開した診療情報を病院やクリニック等に提供することにより、国の方針である、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる「地域包括ケアシステム」の構築やスムーズな転院、在宅医療の推進を図る。また、緊密な連携により、重複検査や処方の削減により、患者の医療費及び精神的な負担軽減を図る。また、平成28年4月の診療報酬改定で新設された、検査・画像情報提供加算を算定し、収益の向上を図る	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○システム開発・運用方法の検討 ○システム導入 ○医療機関等へのシステムの周知 			
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○システム開発・運用方法の検討 在宅医療介護連携推進ワーキング等を開催し、使用方法、運用方法の検討を行った。 ○システム導入 計画どおり導入できた。 ○医療機関等へのシステムの周知 システム説明会(2回)の開催し、システムの周知を行った。 			
事業費	計画額	事業費	20,000千円		
		国庫支出金			
		県支出金	10,000千円		
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	19,500千円		
		国庫支出金			
		県支出金	9,750千円		
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費 ①	17,186千円		
		国庫支出金			
		県支出金	8,592千円		
		地方債			
		その他			
人件費	一般財源	8,594千円	0千円	0千円	
	総人件費 ②	3,840千円			
	一般職員	3,840千円			
	所要人員	0.50			
	臨時職員等	0千円			
総コスト(①+②)		21,026千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称 地域医療連携システムの導入	活動	計画値	システム導入	
			実績値	システム導入		
			単位			
	②	名称 亀山市内の三重県医療安心ネットワーク加入状況 複数の医療機関で診療情報を共有する三重医療安心ネットワークに登録する市内の医療機関等の件数	成果	計画値	8	
			実績値	9		
			単位	件		
	③	名称 患者紹介率 医療センターを受診した患者のうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合を比較する。	成果	計画値	23	
			実績値	23		
			単位	%		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 システム導入スケジュールに沿って、計画どおりにシステム導入を行い運用を開始した。今後については、システムの安定稼働、利用促進に努める。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 亀山市内の三重医療安心ネットワークの加入状況及び医療センター受診患者の紹介率について、いずれも計画値を達成し、十分な成果を得た。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 三重医療安心ネットワークの加入について、二の足を踏む医療機関があるため、患者さんのメリット、医療機関のメリットを説明し、参加を促す必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 各職種にて、システム説明会や成功事例の発表を行い、システムの必要性や利便性を理解してもらい、システムの普及啓発を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 三重医療安心ネットワークに加入することにより、緊密な連携がとれることから、スムーズな転院や在宅医療の推進に繋がる。	
対応時期		平成30年度	

【1次評価者】	地域医療部 病院総務課 病院総務グループリーダー 宮村 信廣
【最終評価者】	地域医療部 病院総務課長 古田 秀樹